

How people really know about "OTAKU"

HUMIHO NISHIYAMA

現代における「おたく」の捉え方

西山久美子

introduction:

1
序論

ここ数年、「おたく」という言葉が広く認識されるようになった。

「おたく」と「アキバ系」という言葉がすぐ結びつけられるように、秋葉原という都市と「おたく」の関連性は深い。日本のおたく文化を目当てに来る外国からの観光客も多い。秋葉原と言うと、「電気街」というイメージが強かったが、90年代後半からアニメやマンガ関連のショップ、メイド喫茶などが増加し、「電気街」というイメージから「おたくの聖地」という認識のされ方の方が現在では一般的である。

「おたく」という言葉を厳密に定義することは難しいが、一般的には、主にアニメやゲーム、漫画などのサブカルチャーに没頭する人のことを指して使われることが多い。

「おたく」という言葉が使われるようになったのは、中森明夫氏が1983年に『漫画ブリッコ』のエッセイで、コミックマーケットに集まるアニメや漫画ファンの少女少女たちを「おたく」と名付けたことからであるという(大塚, 2004)。

また、文明批評家の岡田斗司夫氏は『オタク学入門』の中で、「おたく」とは「映像に対する感受性を極端に進化させた「眼」を持つ、映像の時代に生まれたニュータイプの人種」とであると定義している(岡田, 2008)。

近年では、例えば「鉄道おたく」「ジャニーズおたく」「ガンダムおたく」などのように、様々な趣味に対しても「〇〇おたく」という使われ方がされるようになってきている。「おたく」自体が増加したということもあり、「おたく」という表現は一般化してきている。しかし、「おたく」という言葉は、ゲームやアニメ、漫画、フィギュア等のサブカルチャー領域の「おたく」に対して、「おたく」的な趣向をもたない人(「非おたく」)からの差別用語のようなものとして使われている傾向が強い場合がある。これは、「非おたく」が、曖昧な知識をもとに、アニメや漫画を趣味とする人を、自分と同じ集団とは見做さず、「おたく」として一つのグループに括り、「ラベリング」をしていると言えるのではないかと私は考える。つまり、ステレオタイプの認知が「おたく」に対してはされやすいという現象である。

そもそも、「おたく」という言葉が社会的に認知されたのは、1988年の幼女殺害事件がきっかけであるといわれている(東, 2001)。この事件は、1988年から1989年にかけて発生したもので、当時26歳の男性が4人の幼女を殺害し、親や報道機関に犯行声明を送りつけ、幼女の遺体をビデオで撮影したという内容の事件で、性的犯罪、劇場犯罪、猟奇性、連続性など様々な性格をもつ事件である。その犯人の部屋をマスコミが映し、「おたく」であることを「犯罪者」と結びつけるようなイメージを視聴者に持たせてしまった(毎日新聞, 1989)。「アニメ、漫画、ゲーム好き」イコール「人間本来の

figure 1

《おたくの聖地「アキバ」》



著者

西山久美子 (a7p11125) 文教大学情報学部広報学科3年

文献

岡田斗司夫(2008)『オタク学入門』新潮社

コミュニケーションが苦手で、自分の世界に閉じこもりやすい」人というような、「おたく」といえば、非社会的で倒錯的な性格類型であるというイメージができあがってしまったのである。そういった、メディアによって作り出されてしまった「おたく」のステレオタイプが今でも維持されているのではないか。

少数派というのは目立ちやすく、TVに映される少数派のイメージがその集団全体の特徴であるように画一的に認知されてしまう。テレビで描かれる「おたく」とは、例えば『電車男』のように、シャツをズボンに入れ、リュックを背負い、眼鏡をかけているような、ファッションに疎く、根暗な青年であったり、バラエティ番組で見かけることのある「オタ芸」という「おたく」の人達がハッピーを着て独特な踊りを踊る姿など、恥ずかしいと感じてしまうような「おたく」像がテレビではよく見られる。このような「おたく」の中の一部の人のイメージが際立ち、ステレオタイプを強化させてしまうことに繋がると考えられる。

一方、「おたく」的な趣味をもつ人からしても、「非おたく」から、「おたく」という言葉がどちらかというマイナスまたはネガティブなイメージをもたれていると思っている人は多い。そういう考えから、「おたく」であることを隠して生活する「隠れおたく」となる人がいる。しかし、これは、「おたく」と「非おたく」の接触する機会がさらに減ることになる。

私の経験だが、「おたく」の人とあまり接する機会がなかった頃、それまでは「おたく」と聞くと、「根暗で、話しづらそう」といったどちらかと言えばマイナスなイメージをなんとなく持っていた。しかし、長年仲の良かった友人が「おたく」だったことをふとしたきっかけで知ったり、大学で新たに知り合った友人が「おたく」な趣味を持っていたりし、「おたく」と呼ばれる人達と接する機会が増えていくと、いつの間にか「おたく」に対してステレオタイプ的なイメージを抱くことは無くなっていった。このように、現実での実際の経験がステレオタイプ的なイメージを変えることもある。

そこで、本研究では、まず始めに「非おたく」の人から見た「おたく」について、フォーカス・グループ・インタビューを通じて、「おたく」に対しての他者イメージを明らかにするとともに、さらに、質問紙調査で、「おたく」イメージの形成要因を考察する。

analysis 1: グループ・インタビュー調査からの考察

目的

まず、「非おたく」の人から見た、「おたく」的な趣向をもつ人々に対するイメージの把握を目的として、フォーカス・グループ・インタビューを実施した。

このフォーカス・グループ・インタビューは、質的調査を通じて、この後に行われる質問紙調査による量的調査の仮説立案を目的としている。

また、「おたく」の人がもつ自身に対する自己イメージと、「非おたく」がもつ「おたく」の他者イメージを知ること、まずはステレオタイプの認知のあり方を実証的に明らかにしておく。ここに調査研究の意義があると考えている。

調査の概要

- ・ 調査時期： 2009年6月26日(金) 17時から18時30分頃
- ・ 調査時間： 約1時間半
- ・ 調査場所： 文教大学湘南キャンパス内の研究室
- ・ 調査方法：
 - フォーカス・グループ・インタビュー法
 - 社会調査Ⅲ(担当教員 日吉昭彦先生)の授業の一貫として行い、筆者は当日は司会者を担当した。
 - (協力者として、上原弘美氏と平良奈々瀬氏に、会場設営、発言内容の速記等にご協力いただきました。)
- ・ 調査対象：
 - 文教大学情報学部1年生が5人、2年生が1人、3年生が1人の計7人
 - 文教大学情報学部1年次の授業「社会学」でスクリーニングのための簡略な質問紙を配布
 - その質問紙の質問内容(巻末に資料として原票を添付)は、
 1. 音楽を好むかについて
 2. 音楽のライブ観覧の有無について
 3. 好きなアーティストについて
 4. 普段のアニメ視聴の有無について
 - 対象者とする条件は、普段アニメを日常的に見ていない(一週間のアニメ視聴が1回以下)人で、音楽を好んで聴く人の両方に該当する人。つまり、アニメ領域において「非おたく」であるが、音楽領域においては「おたく」である人を対象とした。
 - フォーカス・グループ・インタビューへの協力が可能であるか否か、連絡先を明記してもらい、上記の条件に該当するものにメールで依頼を行った。
- ・ インタビューフロー：
 - インタビューは次のような質問を中心に構成されている。

まず、趣味やアニメ視聴などの話題による自己紹介から参加者の傾向を把握した。その上で、参加者の抱いている「おたく」に対する印象、「おたく」の捉え方を把握していった。

1. 自己紹介
 - － 趣味について
 - 世界に誇れる日本文化について
 - 子供の頃見ていたアニメについて
2. 音楽について
 - － 音楽の楽しみ方
3. サブカルチャー
 - － サブカルチャーという言葉から想起するイメージ
 - 若者文化について
4. おたくイメージ
 - － 刺激素材の提示・感想：テレビ番組、アニメフリップ
 - － 自分の趣味がおたくだと思われたらどう思うか
 - － おたくの認知の仕方
 - － おたくとの接触度合い、関わり方
 - 周囲のおたく的人物への印象

figure 2

《刺激素材として提示したアニメフリップ》



※刺激素材として提示したテレビ番組

「アキバ系アイドル」といわれている歌手を特集したワイドショー番組の一部。主に、歌手とそのファンへのインタビュー風景を見てもらい、そこから感じたことや印象などを自由に発言してもらった。

結果・考察

～対象者の傾向～

まず、「自己紹介」の発言から、参加者がどのような傾向をもっているか探る。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 趣味 A：映画鑑賞 B：スポーツ観戦 C：スポーツ・書道 D：スポーツ観戦 E：スポーツ F：映画鑑賞・スポーツ観戦 G：スポーツ全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界に誇れる日本文化 A：アニメ B：アニメやゲーム・和服 C：書道のような和物 D：日本人の謙虚な姿勢 E：漫画やアニメ F：漫画やアニメ |
|--|--|
-
- ・ 子供の頃見ていたアニメ
 - A：ワンピース・ドラえもん
 - B：名探偵コナン。今でも見る。
 - D：あまり見たことがない。
 - E：ドラゴンボール
 - F：ドラえもん・サザエさん・ちびまるこちゃん。
今はたまに見る。
 - G：ドラゴンボール。今は忙しいからアニメは見ない。

上記のように、D以外の人の「子供の頃よくアニメを視聴していた」といった発言や、BやFの、「今でもアニメを見ている」という発言、A・B・E・Fの誇れる日本文化

としてアニメやマンガ、ゲームなどのサブカルチャー領域のものを挙げていることから、対象者の傾向として、サブカルチャー領域のおたく文化に対して、肯定的とまでははっきりと言えないが、必ずしも否定的な立場ではないことが分かる。

～「おたく」との接触度による「おたく」の受容傾向～

全体的な発言内容から出席者は2つのグループに分けられる。

兄弟にアニメを好きな人がいたり、周囲にアニメや漫画を好んで見る友人が多いグループと、友人や身近な人にアニメを好きな人がほとんどいないグループの2つである。

周囲にアニメや漫画を好んで見る人がいるグループは、Bの「兄がゲームやロボットが好きだった。友達にもアニメとかを好きな人は多い」という発言、Cの「高校の時、アニメや漫画を好きな子は結構いたし、自分も好きな趣味を築き上げていた」という発言、Gの「友達とかにこういうの（萌えジャンルのアニメ）が好きな人はいた。高校で親友の3人のうちの1人がそうだった」といった発言内容から分かる。

逆に、周囲にアニメや漫画を好んで見る人がいないグループは、Dの「自分の周りにそういう人（おたく）はいなかった」という発言、Fの「高校のクラスにはいたが、友達としてはいない」ということから読み取れる。

このグループ分けにより発言内容に異なる傾向がみられた。「おたく」的な趣味をもつ人が友人や家族など周囲にいと、「おたく」に対して否定的な感情を持ちにくい。逆に、そういった人とあまり接触する機会がないと、Aの「秋葉原にいる人達とは同類に思われたくない。萌え系のアニメはちょっとひく」、Dの「全然知らない人のおたくな部分を見ると若干ひきますね」という発言のように、否定的な発言がみられたことから、やや否定的な感情を持ちがちになることがわかる。

さらに、前者でも、おたくの兄がいるというAの「兄の影響で全く抵抗はない。兄がアニメを見てたら後ろで一緒に見たりもする。アニメが好きということを否定はしない」といった発言から、友人よりも自分に近い存在（家族など）の人にそういった趣味を持つ人のいる方がより受け入れやすいようである。

これは、周囲にアニメや漫画を好んで見る人がいる場合、「おたく」という情報以外にもその人物に関しての情報があるため、「おたく」をその人の一要素として捉えることができ、様々な情報を基に印象を形成することができるということだ。一方、全く知らない人に関しては、その人の印象を決めるうえで、「おたく」というその人の一部分の情報しか見えないため、さらにその側面が際立ち、「おたく」としてラベリングして判断してしまうと考えられる。

～アニメ・ジャンルによる「おたく」への印象の違い～

世界に誇れる日本文化として、「アニメ、ゲーム、漫画」という意見は多かったが、アニメと一括りにいっても、アニメに対する印象・受容傾向は、ジャンルによりかなり異なるものであった。刺激素材としてアニメ・ジャンルごと（ロボットアニメと萌え系、ジブリ作品）に作成したフリップを見せ、そのジャンルに対するイメージや印象を聞いたところ、ジブリ作品に対しては、「みんなが見ているから見るのがいつの間にか当たり前になっていた」というような意識があり、萌え系といわれるようなジャンルには、「絵が現実からかけ離れている、ひいてしまう、興味がもてない、面白さが理解できない」といった否定的な意見が多かった。

そして、萌え系というジャンルからそれを好む人の印象として、「こういったジャンルを好きな人の中には、現実の生身の人間が気持ち悪いという人もいて、知り合いたくない」といった発言がAから出され、Aの中では、「アニメのキャラクターを好む」人は「現実の人間に興味を持ってない」という意識があるということが分かる。

このような萌え系のものを好む人が自分と親しい人にいる場合は、萌えのジャンルが好きだからといって前に出たような「現実の人間に興味を持ってない」という思考をもつばかりではないことはわかる。しかし、周囲におたく的趣味を持つような人がいないと、そういった人に関する情報は、主に、TVなどから受け取った限定的な情報しかない。前のAの発言も、「そういった人がいるのをテレビで見た」と発言していることから、その情報はテレビから受け取ったものであることが分かる。

それを典型事例として、TVで見た一部の「おたく」の人の特徴を、その「おたく」の中でも実際には少数派であるにしても、「萌えアニメを好む人は・・・である」というように集団全体の特徴として均質に認知してしまっている傾向がある。その固定化されたイメージから、「こういったものが好きな人とは関わりたくない」という意識に結びついてしまったと考えられる。

また、他者を「おたく」としてラベリングする場合、外見による判断を重視している傾向がある。おたくである友人について話すとき、「おたくだけど見た目は普通」といった発言のように、外見的要素は判断材料として重要なことがわかる。そして、「おたく」ということに関して、服装スタイルをカテゴリーとして使用しやすい。「おたくだけど・・・」という発言の仕方から、「おたく」に対しての固有の外見・服装イメージがあると考えられる。

～「おたく」のジャンルによる反応の違い～

アニメのフリップとは別の刺激素材として提示したテレビ番組に対する反応としては、「否定はしないが、あの場にはいたくない」「好きになれそうにない」「ファンの人と同類だとは思われたくない」「もし好きになってもファンであることは隠したい」というような否定的な意見が多く出た。

今回「おたく」の一ジャンルとして提示したのは、男装をして、「俺」のような男言葉を使う若い女の子のアイドルグループであった。「こういう人達がいることを初めて知った」という参加者が多かったことから、馴染みのないジャンルのものであったことが分かる。好きにはなれそうにないジャンルのものに対しても、それを好むファンに対しても良い印象を持つことができなかつたと考えられる。

「おたく」と言っても、様々なジャンルがある。やはり、一部の人にしか理解されないマニアックなものと思われてしまうようなジャンルはあり、ジャンルにより反応も様々であることが分かる。

～「おたく」という言葉の意味の変化～

「おたく」という言葉の受け止められ方が変化してきている。

今回のグループ・インタビューの中で、「おたく」という言葉からイメージされた人物として、「秋葉原にいるような人」「コスプレをしている人」「趣味を突き詰める人」「アニメのキャラクターが好きで現実の人間に興味をもてない人」などであった。

最近では、「おたく」イコール「好きなことにこだわる」人というような意味合いで、色んなことに関して広く「おたく」という言葉が使われ、その使い方が浸透してきている。「おたく」が、マイナスイメージの付く言葉として世間から認識されているというよりも、当たり前に見える言葉として一般的に認識され始めている。

グループ・インタビューの参加者の考えている「おたく」の意味合いは、上でも挙げたように、最近広く使われている「おたく」の意味合いというよりも、「おたく」のステレオタイプの意味合いの方が強く、最近の一般的な「おたく」の意味合いとは異なっている。

一方、自分が自分の好きなことで「おたく」と言われた場合に抵抗はないという意見が対象者の発言からは多かった。自己イメージの場合は、最近の一般的な「おたく」の意味合い、他者イメージの場合は、ステレオタイプの「おたく」の意味合いでイメージを抱く傾向にあると思われる。

他者の趣味に関しては、「その人が好きなら自由でいいのではないか」という一見プラスに見える意見が多かったが、その一方で、「のめりこんでいる人に対してはひいてしまう」というように、他者に対しては否定的な意見が多かった。自分が興味のないことには、そういった態度や感情をもってしまうのは仕方ないことかもしれないが、「おたく」というジャンルにはその傾向が特に強いと思われる。

おたく的な趣味をもつ人と関わりがない人の意見としても、「好きなものは人の自由」という意見がみられる一方で、「おたく的趣味をもっていた友人がいたけど話はそこまでできないから別にいい」といった意見からも考えられるように、「おたく」に対しては否定的であるが、その要素を自分の前では出さないで、自分には友人がおたくでない面しか見えないから肯定的であるというように考えられる。

また、その友人からすると、仲の良い仲間内ではあるが、「おたく」は一般的にマイナスのイメージを持たれがちであるという意識から、「おたく」でない友人に自分が「おたく」であることを知られたらひかれてしまうのではないかと考え、自分の趣味を出せなかった要因の一つと考えることができる。

～まとめ～

ここまで、フォーカス・グループ・インタビューの結果を示してきた。

ここから明らかになった主な点を整理してみると、

- － 「おたく」との接触機会が多ければ、「おたく」に対して否定的な感情を持ちにくいということ
- － 「おたく」のイメージ像の形成において、テレビからの情報が大きな役割を担っているということ
- － 身近に「おたく」がいると、テレビなどのメディアの情報よりも、身近な「おたく」の人の印象から「おたく」をイメージしている傾向があるということ
- － 「おたく」の意味合いは自己をイメージする場合と他者をイメージする場合とで異なるということ

ということである。

このようなことから、本研究では、以下のような仮説を立案した。

仮説1

周囲に「おたく」が多ければ、「おたく」に対してステレオタイプのなマイナスの印象を持つことは少ないのではないか

仮説2

テレビの情報を基に「おたく」をイメージしているならば、「おたく」に対してマイナスの印象を持ちやすいのではないか

仮説3

身近に「おたく」がいると、メディアの情報よりも、身近な「おたく」の人の印象から「おたく」をイメージしているのではないか

こうした仮説を明らかにするため、質問紙調査による量的調査を行った。次章はその結果である。

目的

フォーカス・グループ・インタビューの結果を元に立案した仮説を検討し、「おたく」に対するイメージ把握と「おたく」の好意度・肯定感を決める要因は何かを検討する。

調査の概要

- ・調査時期：
2009年12月中旬～1月上旬
- ・調査対象：
文教大学生1～4年生
- ・調査方法：
質問紙を用いた集合調査
※本研究では、時間等の都合によりランダムサンプリングによる調査は実施していない。
※授業時間内に質問紙を配布・回収
- ・サンプル数と有効回答：
サンプル数122 有効数108
- ・主な質問項目
質問紙は次のような質問を中心に構成されている。まず趣味やアニメ視聴などの話題から、「おたく」と「非おたく」のどちらが多いサンプルであるかを把握した。秋葉原に行ったことの有無・目的に関する質問やサブカルチャー領域に関する質問からは、「おたく」文化との接触具合や接触度合、「おたく」文化に関してどの程度認識しているかを把握した。「おたく」の人と接する機会の有無に関する質問や家族の中の「おたく」の有無に関する質問からは、普段の生活の中で、実際に「おたく」の人と接する割合を把握した。その上で、「おたく」イメージ・好意度などの「おたく」に対する印象・意識の実態把握に努めた。
なお、参考までに資料1に原票を添付してある。原票には単純集計結果も追記してあるので、参考してほしい。
 - ・熱中している趣味の有無とその趣味の意義
 - ・同じ趣味を持つ友達との行動量・行動欲求
 - ・現在の漫画購読頻度、子供の頃と現在のアニメ視聴頻度
 - ・サブカルチャーに関する認知、サブカルチャーという言葉の捉え方
サブカルチャー領域の言葉の知識
 - ・「おたく」を見かけることの多いテレビ番組
 - ・「おたく」へのイメージ、「おたく」の趣味としてイメージするもの、

- 「おたく」との接触機会の有無・接触度合
- 「おたく」への好意度合、「おたく」に対する恥意識、
- 「おたく」イメージの形成チャネル
- ・周囲の人物の「おたく」の有無、「おたく」からの趣味の話の有無
- ・家族の中の「おたく」の有無、家族のもつ「おたく」趣味に対しての肯定感
- ・「おたく」と聞いたときの他者に対する印象
- ・秋葉原での「おたく」経験の有無とその目的
- ・友人との付き合い方（気遣い尺度・ふれあい尺度・群れ尺度）

調査の概要

～サンプルの特性～

今回の調査は、サンプル106名で、男性54名（50.9%）、女性52名（49.1%）と男女バランスのとれたサンプルになっている。平均年齢は、大学生がサンプルであり、21.3歳である。

約6割のサンプルが「サブカルチャー」という言葉を認知しており、「サブカルチャー」という言葉は、社会的にいう「若者文化（12.7%）」というより、むしろ「趣味や娯楽（63.5%）」と受け止められている傾向だ。「サブカルチャー」を「オタク文化」と考えるものは少ない（12.7%）。

漫画やアニメに接する量としては、漫画は、「1ヶ月に1、2回」読む（25.9%）、アニメは、子供の頃は「よく見ていた」（68.5%）人が多いが、現在は「1ヶ月に1、2回」見る（63.1%）という結果であり、普段漫画やアニメに接する量は少なく、サンプルはアニメや漫画を代表とする「おたく」文化にあまり触れていない傾向にあるといえる。

また、約6割が「おたく」の聖地として知られる秋葉原に行ったことがあり、その目的は「電気店への買い物」（34.0%）が一番多く、次いで「観光」（28.3%）目的が続く。「イベントへの参加（3.8%）」「アニメグッズ関連の買い物（8.5%）」などのような「おたく」趣味を求めて秋葉原に行くというような人は少なく、「おたく」の人が秋葉原へ行く目的とは異なり、やはり、「おたく」文化に触れる機会の少ないサンプルであることがわかる。

普段「おたく」の人と接する頻度としては、「時々あるほうだ（32.7%）」「あまりないほうだ（24.3%）」が多く、周囲の人物に「おたく」的な人は「多少いるほうだ（42.6%）」「あまりいないほうだ（26.9%）」というものが多いが、「おたく」との接触機会や周囲の「おたく」趣味を持つ人の割合にはばらつきが見られる。

～「おたく」イメージ～

「おたく」に対するイメージで最も当てはまると思うものをそれぞれの項目ごとに、「1.当てはまる」～「5.当てはまらない」までの5段階で回答してもらった。

「おたく」に対してもつ印象に関する質問の結果は下記table1のようになった。

「好きなことにこだわりをもっている」「1つの趣味に没頭している」「熱心である」「知識が豊富」の順に特に平均値が高い。

逆に、「健康的である」の平均値は3.66と最も低く、「おたく」は健康であるというイメージはあまり持たれていない。

平均値が上位3つの項目は、物事に向かう姿勢・態度に関連する項目であり、趣味や好きなことへ情熱を注ぎ、没頭する「おたく」の特性を示しているといえる。

table 1

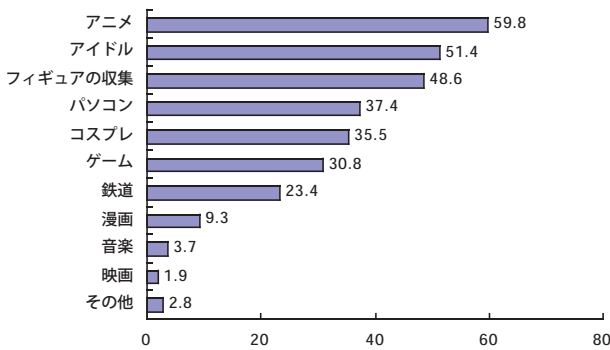
《「おたく」イメージ》

	平均値
a.1つの趣味に没頭している	1.52
b.能動的である	2.45
c.とつきにくい	2.52
d.知識が豊富	1.83
e.家にひきこもりがち	2.20
f.熱心である	1.60
g.ファッションに疎い	2.31
h.人とコミュニケーションをとるのが苦手である	2.51
i.健康的である	3.66
j.繊細である	2.62
k.好きなことにこだわりをもっている	1.34
l.内向的である	2.38
m.現実の人間に興味をもてない	2.64

～「おたく」の趣味～

figure 3

《「おたく」の趣味 (n=107)》



右のfigure3は、「おたくの趣味としてイメージするものはなんですか」という質問に対して11の選択肢から複数回答で3つ挙げてもらった結果である。

「アニメ」が約60%、「アイドル」が約51%、「フィギュアの収集」が約49%、「パソコン」が約37%、「コスプレ」が約36%、「ゲーム」が約31%で、「アニメ」「アイドル」「フィギュアの収集」の3つが「おたく」趣味としてイメージされやすいものであることがわかる。

～「おたく」とテレビ～

figure4-1は、「おたく」イメージの形成チャネルを示したものである。「おたく」イメージの形成チャネルとして「テレビ」が約71%、「インターネット」が約20%で、テレビで映される「おたく」の印象が強いことが分かる。

また、figure4-2から、「おたく」を見かけるテレビ番組は、「バラエティ番組」が約44%、「ニュース番組」が約21%、次いで「ワイドショー」「アニメ番組」「ドキュメンタリー番組」「ドラマ」が続く。テレビ番組の中でも、「バラエティ番組」で描かれる「おたく」の印象は強い傾向にある。

「おたく」像の形成において、テレビは一つの大きな役割を担っているといえる。

figure 4-1

《「おたく」イメージの形成チャネル (n=104)》

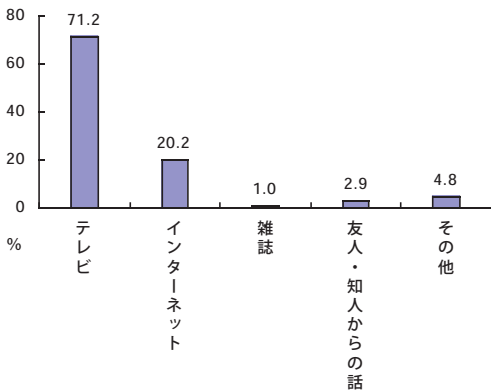


figure 4-2

《「おたく」を見かけるテレビ番組 (n=105)》

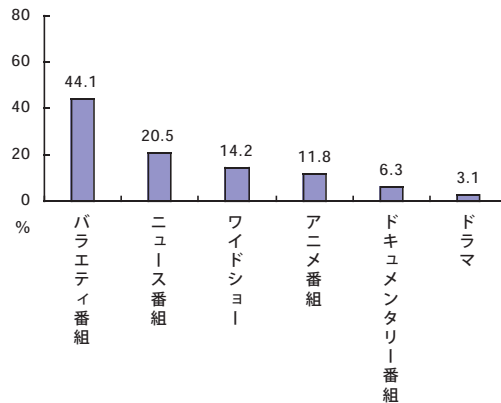
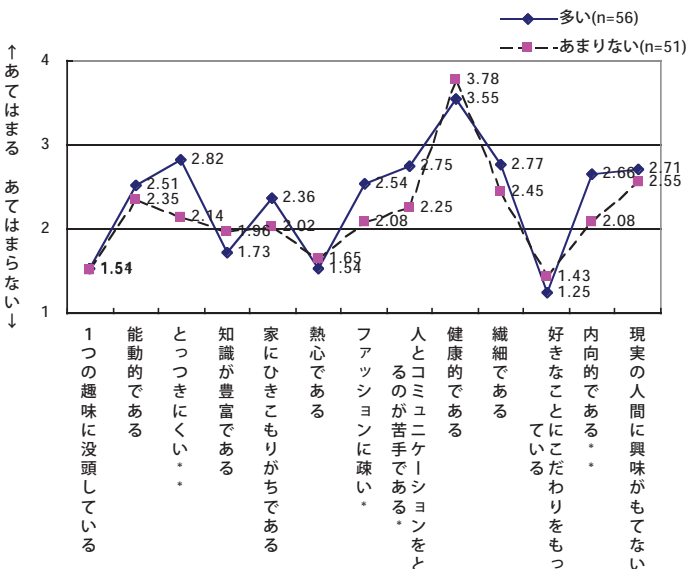


figure 5-1

《「おたく」との接触機会別、イメージの平均の比較》



～「おたく」との接触機会の多さによる意識の違い～
「おたく」との接触機会別、イメージの平均の比較

両グループで統計的に有意な差が見られたのは、「とつきにくい」「ファッションに疎い」「人とのコミュニケーションが苦手である」「内向的である」の項目である。「おたく」との接触機会が少ないグループの方が「おたく」にマイナスイメージを持つ傾向にあることが分かる。

左のfigure5-1のように、統計的に有意な差は見られてはいないが、全般的に、「おたく」との接触機会が少ないグループよりも多いグループの方

が、「知識が豊富である」「熱心である」「好きなことにこだわりを持っている」などの項目に肯定的であり、「おたく」に対して比較的良い印象を感じている傾向がある。

逆に、「とっつきにくい」「家にひきこもりがちである」「現実の人間に興味をもてない」などのマイナスのイメージをもつと考えられる項目には、「おたく」との接触機会の少ないグループの方が「おたく」のイメージに当てはまると考えている傾向がある。

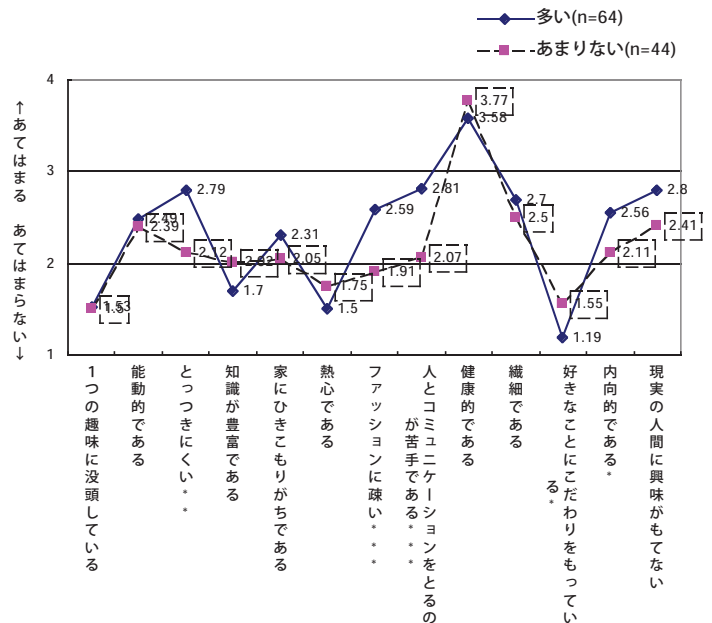
figure 5-2

周囲にいる「おたく」の割合別、
イメージの平均の比較

両グループで統計的に有意な差が見られたのは、「とっつきにくい」「ファッションに疎い」「人とのコミュニケーションが苦手である」「好きなことにこだわりを持っている」「内向的である」の項目で、周囲にいる「おたく」が少ないグループの方が「おたく」にマイナスイメージを持つ傾向があることが分かる。

統計的に有意な差は見られてはいないが、周囲の「おたく」の割合別に「おたく」イメージを集計したfigure5-2からは、「おたく」が周囲に少ないグループよりも多いグループの方が「知識が豊富である」「熱心である」「好きなことにこだわりを持っている」などの項目に肯定的であり、figure5-1と同様の結果であった。

《周囲の「おたく」の割合別、おたくイメージ》



～家族の中の「おたく」の有無による傾向～
「サブカルチャー」認知度

table 2

家族の中の「おたく」の有無に関する質問と、「サブカルチャー」認知度に関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、下記のtable 2のようになった。カイ二乗検定の結果（自由度=1、カイ二乗値=13.06）、1%水準で有意に関連が見られた。

傾向を分析すると、家族の中に「おたく」がいる場合、「サブカルチャーについて聞いたことがある」という割合が顕著に高く、家族に「おたく」がいない場合、「聞いたことがある」と「聞いたことがない」というのは半々であり、家族の中の「おたく」の有無によって、サブカルチャー自体の認知度が異なる傾向にある。

《家族の中の「おたく」の有無とサブカルチャー認知度》

	サブカルチャーについて聞いたことがある		合計
	サブカルチャーについて聞いたことがある	サブカルチャーについて聞いたことがない	
おたく：有	23 (92.0%)	2 (8.0%)	100.00%
おたく：無	43 (51.8%)	40 (48.2%)	100.00%
合計	66 (61.1%)	42 (38.9%)	100.00%

($\chi^2=13.06, df=1, P<0.01$)

家族の中の「おたく」の有無と夢中になれる趣味の有無

table 3

家族の中の「おたく」の有無に関する質問と、夢中になれる趣味の有無に関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、下記のtable 3のようになった。カイ二乗検定の結果（自由度=1、カイ二乗値=7.16）、1%水準で有意に関連が見られた。

傾向を分析すると、家族の中に「おたく」がいる場合、「夢中になれる趣味がある」という割合が顕著に高く、家族に「おたく」がいない場合、「夢中にな

《家族の中の「おたく」の有無と夢中になれる趣味の有無》

	夢中になれる趣味がある		合計
	夢中になれる趣味がある	夢中になれる趣味がない	
おたく：有	22 (88.0%)	3 (12.0%)	100.00%
おたく：無	49 (59.0%)	34 (41.0%)	100.00%
合計	71 (65.7%)	37 (34.3%)	100.00%

($\chi^2=7.16, df=1, P<0.01$)

れる趣味がある」という割合の方が若干高く、家族の中の「おたく」の有無によって、夢中になれる趣味の有無が異なる傾向にある。

table 4

秋葉原での「おたく」経験の有無

《家族の中の「おたく」の有無とサブカルチャー認知度》

	秋葉原での「おたく」経験 ：ある	秋葉原での「おたく」経験 ：ない	合計
家族の中におたく ：いる	22 (88.0%)	3 (12.0%)	100%
家族の中におたく ：いない	41 (49.4%)	42 (50.6%)	100%
合計	63 (58.3%)	45 (41.7%)	100%

($\chi^2=11.78, df=1, P<0.01$)

「おたく」との接触機会に関する質問と、秋葉原での「おたく」経験の有無に関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、下記のtable 4のようになった。カイ二乗検定の結果（自由度=1、カイ二乗値=11.78）、1%水準で有意に関連が見られた。

傾向を分析すると、家族の中に「おたく」がいる場合、「秋葉原に行ったことがある」という割合が顕著に高く、家族に「おたく」

がいない場合、「秋葉原に行ったことがある」「秋葉原に行ったことがない」というのは半々であり、家族の中の「おたく」の有無によって、秋葉原での「おたく」経験の有無が異なる傾向にある。

「おたく」との接触機会別、イメージの平均の比較

秋葉原での「おたく」経験の有無に関する質問と、「おたく」イメージに関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、どの項目でも有意差がなかった。

秋葉原に行ったことがあるという経験と、「おたく」に対するイメージは関連が見られなかった。

知識による「おたく」イメージの違い

サブカルチャー領域の言葉に関する知識の有無によって、「おたく」イメージに違いがあるかを検討する。そのために、サブカルチャー領域の言葉に関しての質問（例： Q2. 「萌え」の意味として最も当てはまるものを1つ選んでください。）を独立変数として、下記のような従属変数の母平均の比較（t検定）を行った。

まず、問20. Q2（質問：言葉の意味として最も当てはまると思うものを一つ選んでください。）の「萌え」「腐女子」「ツンデレ」「草食系」のそれぞれの項目に対する答えを、言葉の意味として適切な選択肢とそれ以外（言葉の意味として適切ではない選択肢）で2つのグループに分けた。

方法として、問20. 「萌え」のQ2を具体例として次に示す。

3つの選択肢の中で、「萌え」の意味として最も当てはまるものは「1. キャラクターへの愛情表現」である。その正解の選択肢「1. キャラクターへの愛情表現」とそれ以外の間違いの選択肢「2. 色っぽいさま」「3. 大切にすること」で分け、2つのグループを作る。「腐女子」「ツンデレ」「草食系」の項目でも同様の作業を行う。それぞれの項目の正解の選択肢としては、「腐女子」は「3. 男性同士の恋愛を好む女性」、「ツンデレ」は「1. 普段はツンツン、二人きりのときはデレデレする人」、「草食系」は「4. 恋愛に対して奥手な男性」が正解の選択肢である。

また、「萌え」「腐女子」「ツンデレ」がサブカルチャー領域の言葉であるのに対し、「草食系」の項目だけは異なり、これはダミーの項目として追加した。ここでは、サブカルチャー領域の知識の有無によって、「おたく」イメージの違いがあるかを検証することを目的としている。そのため、全く違う領域に関する知識の有無によっては、「おたく」イメージに差が見られないということを示すため、「草食系」というダミーの項目を入れた。

このように、サブカルチャーに関係する言葉の正しい知識の有無によって、「おたく」イメージが異なるかどうかを検討するため、正解者と不正解者のグループに分け、「おたく」イメージに関する質問の平均値を用いてt検定を行った結果、2つの変数に差があったものを以下にそれぞれ示す。差の見られなかった項目については割愛する。

1. 「萌え」

	平均値	有意確率	t値
g. ファッションに疎い	知識あり：2.22 知識なし：2.74	P<0.05	-2.054

2. 「腐女子」

	平均値	有意確率	t値
b. 能動的である	知識あり：2.62 知識なし：2.11	P<0.05	2.383
d. 知識が豊富	知識あり：1.63 知識なし：2.26	P<0.01	-3.060

3. 「ツンデレ」

	平均値	有意確率	t値
c. とっつきにくい	知識あり：2.30 知識なし：2.78	P<0.05	-2.090
1. 内向的である	知識あり：2.20 知識なし：2.59	P<0.05	-2.005

4. 「草食系」

2つの変数（「草食系」に関する知識あり・なし）に差は見られなかった。

「萌え」の知識があると、「おたく」はファッションに疎いというイメージをもち、「腐女子」の知識があると、「おたく」は能動的ではないが、知識が豊富であるというイメージをもっている。「ツンデレ」の知識があると、知識がない人と比べると「おたく」はややとっつきにくく、内向的であるというイメージをもつ。

以上の結果から、「草食系」というサブカルチャーとは異なる領域についての知識の有無からは、「おたく」のイメージに差は無く、サブカルチャー領域に関する知識の有無によって、「おたく」のイメージは異なると言える。しかし、サブカルチャー領域の知識があるからといって、「おたく」に対して良いイメージを持つわけではない。様々な知識を基に、ステレオタイプの認知ではなく、多様多様な「おたく」の捉え方をしていると考えられる。

～性格特性による「おたく」への態度の違い～

ここでは、元から持っていた性格よりも、「おたく」との実際の接触が「おたく」への印象を決定する重要な要因であることを検証したい。そのために、友人関係の特徴によって、「おたく」に対する態度の違いの有無を検討する。

まず、友人関係に関する質問を14項目（下記の友人関係に関する尺度ごとの3つの表を参照）設け、「1. 非常にあてはまる」から「4. 全くあてはまらない」の4段階で回答してもらった（table5-1、5-2、5-3）。

項目によって、「気遣い」尺度、「ふれあい回避」尺度、「群れ」尺度の3つの尺度を作り、それぞれの項目の合計の平均値よりも得点が高いグループと低いグループに分けた。

3つの尺度別に、有意差の見られたもののみ下記に示す。

有意差が見られたものの中でも、「おたく」への態度や印象に関する項目は、「おたく」の人から趣味の話をされることがあるかという項目と、普段「おたく」と認識する機会があるかという項目のみであり、性格が「おたく」への態度や印象に影響を及ぼすのは限定的であると考えられる。

社会調査Ⅲ 研究レポート

table 5-1

《「気遣い」尺度に関する項目と平均値》

相手の考えていることに気がつかう	1.81
互いに傷つけないよう気がつかう	1.84
自分を犠牲にしても相手につくす	2.45
お互いの約束は決して破らない	2.08
友達グループのメンバーからどう見られているか気になる	2.43
友達グループのためにならないことは決してしない	2.54

table 5-2

《「ふれあい回避」尺度に関する項目と平均値》

お互いのプライバシーには入らない	2.30
お互いの額分にふみこまない	2.25
相手に甘えすぎない	2.10
相手の言うことに口をはさまない	2.45
真剣な議論をすることがある	1.91
心を打ち明ける	1.89

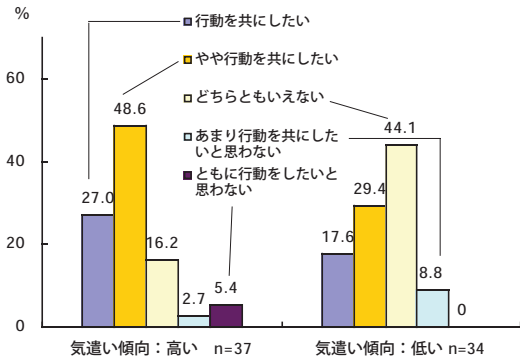
table 5-3

《「群れ」尺度に関する項目と平均値》

冗談を言って相手を笑わせる	1.70
ウケるようなことをよくする	2.09
みんなと一緒にいることが多い	2.04
楽しい雰囲気になるよう気がつかう	1.94

figure 6

《共通の趣味を持つ友達との行動欲求》



「気遣い」尺度
 1. 共通の趣味を持つ友達との行動欲求
 友人への「気遣い」の傾向に関する質問と、共通の趣味を持つ友達との行動欲求に関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、figure6のようになった。カイ二乗検定の結果（自由度=4、カイ二乗値=10.0）、5%水準で有意に差が見られた。そこで傾向を分析すると、「気遣い」傾向が高い場合、「共通の趣味を持つ友達とやや行動を共にしたい」の割合が高く、「気遣い」傾向が低い場合、「どちらともいえない」が多いという傾向であり、「気遣い」の傾向によって、共通の趣味を持つ友達との行動欲求が異なる傾向にある。

・「群れ」尺度

「群れ」尺度では、有意差の見られた項目はなかった。

・「気遣い」尺度

1. 共通の趣味を持つ友達との行動欲求

友人への「気遣い」の傾向に関する質問と、共通の趣味を持つ友達との行動欲求に関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、figure6のようになった。カイ二乗検定の結果（自由度=4、カイ二乗値=10.0）、5%水準で有意に差が見られた。

そこで傾向を分析すると、「気遣い」傾向が高い場合、「共通の趣味を持つ友達とやや行動を共にしたい」の割合が高く、「気遣い」傾向が低い場合、「どちらともいえない」が多いという傾向であり、「気遣い」の傾向によって、共通の趣味を持つ友達との行動欲求が異なる傾向にある。

・「ふれあい回避」尺度

1. 周囲にいる「おたく」からの趣味の話の有無

友人との「ふれあい回避」の傾向に関する質問と、周囲にいる「おたく」の人から趣味についての会話があるかに関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、figure7のようになった。カイ二乗検定の結果（自由度=4、カイ二乗値=9.8）、5%水準で有意に差が見られた。

そこで傾向を分析すると、「ふれあい回避」傾向が高い場合、「多少話す方だ」「全く話さない方だ」の割合が高く、「ふれあい回避」傾向が低い場合、「あまり話さない方だ」「多少話す方だ」「よく話す方だ」が多いという傾向であり、「ふれあい回避」の傾向によって、周囲の「おたく」からの趣味の話の有無が異なる傾向にある。

2. 「おたく」と認識する機会

友人との「ふれあい回避」の傾向に関する質問と、普段他人を「おたく」だと認識する機会の有無に関する質問の関連をクロス集計表で整理した結果、figure8のようになった。カイ二乗検定の結果（自由度=4、カイ二乗値=10.8）、5%水準で有意に差が見られた。

そこで傾向を分析すると、「ふれあい回避」傾向が高い場合、「時々ある」「あまりない」の割合が高く、「ふれあい回避」傾向が低い場合、「時々ある」が顕著に多いという傾向であり、「ふれあい回避」の傾向によって、「おたく」と認識する機会の趣味の有無が異なる傾向にある。

figure 7

《「おたく」からの趣味の話の有無》

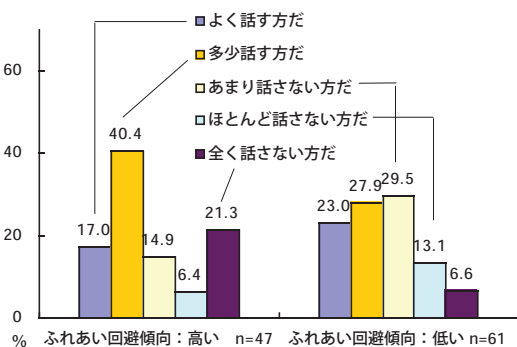
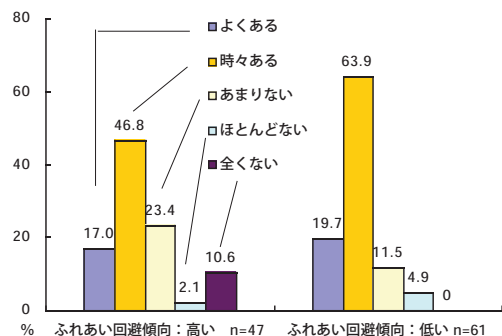


figure 8

《「おたく」と認識する機会の有無》



～「おたく」イメージの因子分析～ 因子分析結果

「おたく」イメージがどのような要因により構成されているのかを調べるため、問7の「おたく」イメージに関する質問を使い、因子分析を行った。その結果がtable 6、table 7である。

因子分析の結果、4つの因子が抽出された。table 6は、因子行列表である。

table 6

《因子行列表》

	内向性	情熱的	趣味への専心	心体的健康	SD平均値
h.人とコミュニケーションをとるのが苦手である	0.83	-0.1	-0.02	-0.03	2.51
l.内向的である	0.8	0.01	0.04	0.23	2.38
g.ファッションに疎い	0.76	0.06	-0.04	-0.06	2.31
e.家にひきこもりがちである	0.73	-0.18	-0.04	0.02	2.2
m.現実の人間に興味を持ってない	0.64	-0.17	0.24	-0.2	2.64
c.とつきにくい	0.55	0.04	0.48	0.14	2.52
f.熱心である	0.08	0.87	-0.04	-0.07	1.6
k.好きなことにこだわりをもっている	0.06	0.82	-0.24	-0.09	1.34
d.知識が豊富	0.11	0.7	-0.04	-0.21	1.83
a.1つの趣味に没頭している	0.02	0.53	0.41	0.09	1.52
b.能動的である	-0.07	0.2	0.76	-0.07	2.45
i.健康的である	-0.41	0.09	0.3	0.7	3.66
j.繊細である	0.41	0.26	-0.45	0.58	2.62
固有値	3.51	2.38	1.4	1.02	SD値平均
寄与率	26.64	18.03	10.94	8.29	2.28
累積寄与率					63.9

table 7

《「おたく」イメージの因子分析結果》

「おたく」への恥意識別の因子得点

抽出された因子が、「おたく」への恥意識にどのような影響を及ぼすかを調べるため、因子得点の平均値を出し、分散分析を行った。

この結果がfigure 9である。このデータが標準化された場合、平均値は0となり、強い傾向は負、弱い傾向は正となる。

情熱的(第2因子)以外の、内向性(第1因子)、趣味への専心(第3因子)、心体的健康(第4因子)の点で、傾向が異なる。

自分が「おたく」と言われた場合「全く恥ずかしくない」という意識をもっていると、内向性の因子得点が高く、弱い傾向にあることが分かる。

内向性(第1因子)に有意差があり、他の3つについては、有意差はなかった。

他者から「おたく」と言われて「恥ずかしくない」と考える人は、必ずしも「おたく」を内向的なイメージで捉えてはおらず、逆に、他者から「おたく」と言われて「恥だ」と考えている人は、「おたく」を内向的なイメージで捉えている傾向にあると考えられる。

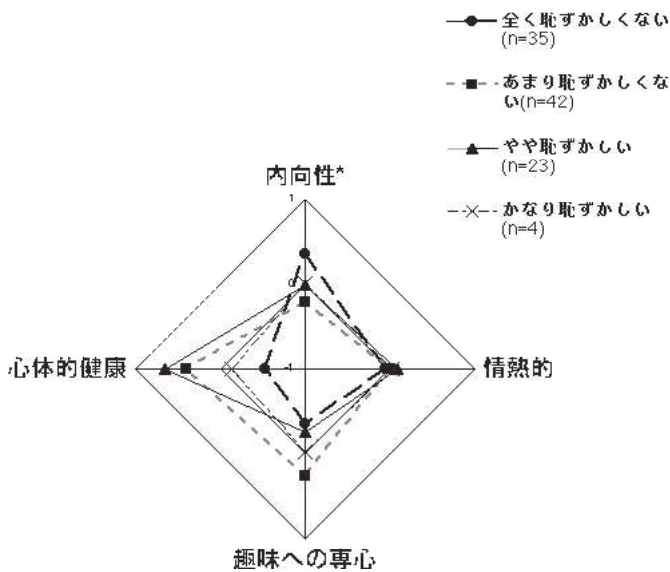
また、周囲にいる「おたく」の割合に関する質問を独立変数として、従属変数(他者に「おたく」と言われたら恥ずかしいかに関する質問)の母平均の比較(t検定)を行い、結果を下記の表に示した。そこから、他者から「おたく」と言われて「恥だ」と考えている人は、周囲に「おたく」があまりいない人に多くみられることがわかる。

因子(平方和、寄与率)	因子の内容(対応する変数)
第1因子(3.5、26.6) 内向性	h.人とコミュニケーションをとるのが苦手である、l.内向的である、g.ファッションに疎い、e.家にひきこもりがちである、m.現実の人間に興味を持ってない、c.とつきにくい
第2因子(2.3、18.0) 情熱的	f.熱心である、k.好きなことにこだわりをもっている、d.知識が豊富
第3因子(1.4、11.0) 趣味への専心	b.能動的である、a.1つの趣味に没頭している
第4因子(1.1、8.3) 心体的健康	i.健康的である、j.繊細である

(注)平方和と寄与率はバリマックス回転後の値である。寄与率の合計は63.9%である。

Figure 9

《「おたく」への恥意識別の因子得点》



「おたく」と接する機会が増えれば、「おたく＝内向的である」「おたく＝恥である」といったステレオタイプの認知を減らすことができる可能性を、この結果は示していると考えられる。

	平均値	有意確率	t値
おたくへの恥意識	周囲におたくが多い: 1.78	P<0.01	-2.658
	周囲におたくが少ない: 2.20		

～まとめ・考察～

「おたく」をテレビで見た印象が強いという人が多いことから、テレビは「おたく」像の形成の1つとして大きな役割をもっている。

家族の中に「おたく」がいるかということによって、サブカルチャーの認知度や秋葉原での「おたく」文化の経験の有無、周囲の「おたく」からの趣味の話の有無の項目で差は見られたものの、「おたく」イメージや好意度などの印象に関する部分に関しては、家族の中の「おたく」の有無とは関係が見られなかった。そのことから、フォーカス・グループ・インタビューの結果から考えた「友人よりも自分に近い存在（家族など）の人に「おたく」的な趣味を持つ人のいる方がより「おたく」イメージが良い」というような仮説は今回の質問紙調査の結果では立証できなかった。

しかし、「おたく」との接触機会が少なかったり、周囲に「おたく」があまりいない人は、「おたく」は「人間本来のコミュニケーションが苦手で、自分の世界に閉じこもりやすい」人というようなステレオタイプの思考を持ってしまう傾向にあるということが分かり、「周囲に「おたく」が多ければ、「おたく」に対してステレオタイプのマイナスの印象を持つことは少ないのではないか」という仮説は立証されると考える。

また、性格の違いによって、周囲にいる「おたく」からの趣味の話の有無の項目と「おたく」と認識する機会の有無の項目で有意差がみられたが、「おたく」のイメージに関して、性格による差は見られなかった。

そして、普段生活している中での「おたく」との接触機会の多さによって、「おたく」へのイメージに傾向がみられたことなどから、元から持っている性格が「おたく」への態度を直接的に決めていたわけではなく、「おたく」との接触度合いが「おたく」に対する印象を決めているといえる。

conclusion :

◆ 4 全体のまとめ・今後の課題

「おたく」との接触機会の少ない人は、「おたく」へのイメージをテレビからの情報を基に形成している傾向があることがわかった。

テレビで描かれる「おたく」というのは、事件との関連で報道されたり、バラエティ番組で面白可笑しく取り上げられることが多く、それは、視聴者にあまり良い印象を与えるような映され方ではない。従来の偏った報道ではなく、「おたく」それぞれが多種多様な外見・性格を持っていることをきちんと伝えることが、「おたく」へのステレオタイプの認知を軽減するためには重要なことであると考ええる。

そして、「おたく」への印象を決定する要因としては、元から持っている個人の性格よりも、普段の生活での経験や様々な場面で得た情報など、後から身につけたことの方が重要な要因となっている。これは、「おたく」に対するステレオタイプの認知を考える上で、とても重要な結果といえる。

仮に、個人の性格が「おたく」への印象を決める最も大きな要因であるならば、「おたく」に対し否定的なイメージを持っている人の意識を変えることは難しいだろう。しかし、経験によって「おたく」の印象が決まるのなら、「おたく」の人と実際に接したり、もっと「おたく」を知る機会が増えれば、「おたく」にも様々な人がいるということを知ってもらえるし、「おたく」としてラベリングを貼られるのではなく、一つの個性として捉えられるようになるかもしれない。そういった環境や時代になれば、自分の嗜好を隠して一人の世界だけで楽しむことも、引け目を感じることも少なくなり、また、さらに人間関係が広がっていくことに繋がるのではないだろうか。

これは「おたく」だけではなく、他の社会的に少数派である人達に関しても、同様のことが言えるだろう。人種や民族、性的指向の違いによる、偏見を持たれがちな人達においても、認識され、接触する機会が増えれば、偏見の目で見られることも現在より減るのではないかと考える。

1980年代や90年代に比べると、現代の「おたく」への印象というのは徐々に良くなってきているとは思いますが、まだまだステレオタイプの認知を「おたく」に対して持っている人が多いことは事実である。先入観や偏見の目で捉えるのではなく、「おたく」に対する正しい認識をどう広めていけるかが今後の課題である。

付問4. 普段、共通した趣味をもつ人達と行動をすることが多いですか? **n=70**

1. 多いほうだ **28.6**
2. やや多いほうだ **37.1**
3. やや少ないほうだ **22.9**
4. 少ないほうだ **11.4**

付問5. あなたは、普段から共通の趣味をもつ人と行動を共にしていきたいほうだ
と思いますか? **n=71**

1. そう思う **22.5**
2. ややそう思う **39.4**
3. どちらともいえない **29.6**
4. あまりそう思わない **5.6**
5. そう思わない **2.8**

問3. ここ1か月に、漫画をどの程度読みましたか? **n=108**

1. ほぼ毎日 **12.0**
2. 一週間につき3~4日 **14.8**
3. 一週間につき1~2日 **22.2**
4. 1か月に1、2回 **25.9**
5. 全く読まない **25.0**

問4. ここ1か月に、アニメをどの程度見ましたか? **n=108**

1. ほぼ毎日 **3.7**
2. 一週間につき3~4日 **13.0**
3. 一週間につき1~2日 **22.2**
4. 1か月に1、2回 **36.1**
5. 全く見ない **25.0**

問5. 子供の頃、アニメをどの程度見ていましたか? **n=108**

1. よく見ていた **68.5**
2. 時々見ていた **24.1**
3. あまり見ていなかった **3.7**
4. ほとんど見ていなかった **2.8**
5. 覚えていない **0.9**

問6. あなたは普段、どんなテレビ番組で「おたく」を見ることが多いですか? **n=105**

1. バラエティ番組 **44.1**
2. ニュース番組 **20.5**
3. ドラマ **3.1**
4. ドキュメンタリー番組 **6.3**
5. アニメ番組 **11.8**
6. ワイドショー **14.2**

問 15. 自分の好きなことに関して、もし友人から「おたく」だと言われたら、あなたは恥ずかしいと思いますか？ **n=108**

1. 全く恥ずかしくない **33.3**
2. あまり恥ずかしくない **41.7**
3. やや恥ずかしい **21.3**
4. かなり恥ずかしい **3.7**

問 16. あなたが親しい友人に「〇〇おたく」と言われた場合、どう思いますか？ **n=108**

1. 言われたくない **4.6**
2. あまり言われたくない **23.1**
3. やや言われてもいい **15.7**
4. 言われてもいい **15.7**
5. なんとも思わない **40.7**

問 17. 普段、「あの人はおたくかもしれない」と思うことがありますか？ **n=108**

1. よくある **18.5**
2. 時々ある **56.5**
3. あまりない **16.7**
4. ほとんどない **3.7**
5. 全くない **4.6**

問 18. 「あの人はおたくだ」と聞いたとき、その人に対してどういう印象を持ちますか？ **n=108**

1. 好意的に思う **0.9**
2. やや好意的に思う **17.6**
3. やや嫌な感じをもつ **12.0**
4. 嫌な感じをもつ **1.9**
5. わからない **67.6**

問 19. 「あの人はおたくだ」と聞いたとき、その人に対してどう思いますか？ **n=108**

1. 近寄りやすいと思う **0.9**
2. やや近寄りやすいと思う **14.8**
3. やや近寄りがたいと思う **22.2**
4. 近寄りがたいと思う **2.8**
5. わからない **59.3**

問 20. 以下の言葉に関して最も当てはまるものをそれぞれお答えください。

・「萌え」

Q1. 「萌え」という言葉を知っていますか？**n=108**

1. 聞いたことはない **1.9**
2. 聞いたことはある **60.2**
3. なんとなく意味は知っている **38.0**

Q2. 「萌え」の意味として最も当てはまると思うものを1つ選んでください。**n=108**

1. キャラクターへの愛情表現 **82.4**
2. 色っぽいさま **10.2**
3. 大切にすること **7.4**

Q3. 「萌え」という言葉にどういった印象を持っていますか？**n=108**

1. 肯定的 **26.9**
2. どちらかといえば肯定的 **25.9**
3. どちらかといえば否定的 **15.7**
4. 否定的 **4.6**
5. わからない **26.9**

・「腐女子」

Q1. 「腐女子」という言葉を知っていますか？**n=108**

1. 聞いたことはない **7.4**
2. 聞いたことはある **59.3**
3. なんとなく意味は知っている **33.3**

Q2. 「腐女子」の意味として最も当てはまると思うものを1つ選んでください。**n=104**

1. マナーの悪い女性 **3.8**
2. 性根の腐った女性 **13.5**
3. 男性同士の恋愛を好む女性 **69.2**
4. 片付けができない女性 **5.8**
5. 恋愛に興味がない女性 **7.7**

Q3. 「あの人は腐女子だ」と聞いたとき、どういう印象をもちますか？**n=107**

1. 好意的に思う **5.6**
2. やや好意的に思う **5.6**
3. やや嫌な感じをもつ **28.0**
4. 嫌な感じをもつ **19.6**
5. わからない **41.1**

Q4. 「あの人は腐女子だ」と聞いたとき、その人に対してどう思いますか？**n=107**

1. 近寄りやすいと思う **4.7**
2. やや近寄りやすいと思う **6.5**
3. やや近寄りがないと思う **23.4**
4. 近寄りがないと思う **24.3**
5. わからない **41.1**

・「ツンデレ」

Q1. 「ツンデレ」という言葉を知っていますか？ **n=108**

1. 聞いたことはない **3.7**
2. 聞いたことはある **50.0**
3. なんとなく意味は知っている **46.3**

Q2. 「ツンデレ」の意味として最も当てはまると思うものを1つ選んでください。 **n=106**

1. 普段はツンツン、二人きりのときはデレデレする人 **51.9**
2. ツンツンと澄ましている人 **1.9**
3. 普段はツンツン、たまにデレデレする人 **46.2**

Q3. 「ツンデレ」という言葉をどう感じていますか？ **n=107**

1. 肯定的 **25.2**
2. どちらかといえば肯定的 **30.8**
3. どちらかといえば否定的 **7.5**
4. 否定的 **0.9**
5. わからない **35.5**

・「草食系」

Q1. 「草食系」という言葉を知っていますか？ **n=108**

1. 聞いたことはない **1.9**
2. 聞いたことはある **53.7**
3. なんとなく意味は知っている **44.4**

Q2. 「草食系」の意味として最も当てはまると思うものを1つ選んでください。 **n=106**

1. ベジタリアンな男性 **3.8**
2. おっとりした男性 **12.3**
3. 鈍感な男性 **0.9**
4. 恋愛に対して奥手な男性 **75.5**
5. 細身の男性 **7.5**

Q3. 「あの人は草食系だ」と聞いたとき、どういう印象をもちますか？ **n=107**

1. 好意的に思う **9.3**
2. やや好意的に思う **23.4**
3. やや嫌な感じをもつ **9.3**
4. 嫌な感じをもつ **6.5**
5. わからない **51.4**

Q4. 「あの人は草食系だ」と聞いたとき、その人に対してどう思いますか？ **n=107**

1. 近寄りやすいと思う **12.1**
2. やや近寄りやすいと思う **20.6**
3. やや近寄りがないと思う **7.5**
4. 近寄りがないと思う **3.7**
5. わからない **56.1**

○あなたと、あなたの友人との付き合い方についてお尋ねします。以下の項目について最も当てはまると思うものをそれぞれお答えください。 n=108

	非常に あてはま る	やや あてはま る	あまり あてはま らない	全く あてはま らない
相手の考えていることに気をつかう 1.81	1	2	3	4
互いに傷つけないよう気をつかう 1.84	1	2	3	4
自分を犠牲にしても相手につくす 2.45	1	2	3	4
お互いの約束は決して破らない 2.08	1	2	3	4
友達グループのメンバーからどう見られているか気になる 2.43	1	2	3	4
友達グループのためにならないことは決してしない 2.54	1	2	3	4
	非常に あてはま る	やや あてはま る	あまり あてはま らない	全く あてはま らない
お互いのプライバシーには入らない 2.30	1	2	3	4
お互いの領分にふみこまない 2.25	1	2	3	4
相手に甘えすぎない 2.10	1	2	3	4
相手の言うことに口をはさまない 2.45	1	2	3	4
真剣な議論をすることがある 1.91	1	2	3	4
心を打ち明ける 1.89	1	2	3	4
	非常に あてはま る	やや あてはま る	あまり あてはま らない	全く あてはま らない
冗談を言って相手を笑わせる 1.70	1	2	3	4
ウケるようなことをよくする 2.09	1	2	3	4
みんなで一緒にいることが多い 2.04	1	2	3	4
楽しい雰囲気になるよう気をつかう 1.94	1	2	3	4

○最後にあなた自身についてお聞きします。 n=108

問. あなたの性別は? 1. 男性 **50.9** 2. 女性 **49.1**

問. あなたの年齢は? () 歳 **21.3** n=106

ご協力ありがとうございました。

[付属資料2 グループ・インタビュー調査用スクリーニング・シート]

グループ・インタビュー参加のお願い

広報学科3年, 西山久美子

社会調査Ⅲという授業で、6月26日（来週の金曜日）の5限目に、

グループ・インタビューの実施を予定しており、

そのための参加者を募集しています。

お忙しいとは思いますが、お時間のある方は是非ご協力よろしくおねがいします。

◆ 次の3つの質問にお答え下さい。

1 : 音楽は好きですか？

1. はい 2. いいえ

2 : 音楽のライブに行ったことがありますか？

1. はい 2. いいえ

3 : 好きなアーティストを挙げて下さい。(何人でも)

()

4 : 普段、アニメを見ますか？

1. はい 2. いいえ

5 : グループ・インタビューにご協力して下さる方は下記にご記入をお願いします。

学籍番号 : _____ 氏名 : _____

※該当する方にはメールにて連絡させていただきます。

ご協力ありがとうございました。